

コード	20104
作成年度	22年度

## 基本事業評価表

基本事業名称	ごみ減量化とリサイクルの推進
--------	----------------

総合計画の位置付け	
政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり
施策名称	しまの自然とともに生きる環境づくり

課コード	113	関係課名
主管課名	環境課	

### 基本事業の目的

ごみ分別収集の徹底や生ごみ処理容器の設置助成など、ごみ減量化とリサイクルの推進を図ることを目的とする。

### 基本事業の成果

成果指標名称 1	ごみ総排出量	成果指標名称 2	リサイクル率
成果指標の積算根拠	ごみ総排出量(目標)÷ごみ総排出量(実績)	成果指標の積算根拠	リサイクル資源量÷ごみ総排出量
目標達成年度	平成27年度	目標達成年度	平成27年度
目標達成数値	12,259	目標達成数値	18%

年 度		H18	H19	H20	H21	H22	
成果指標1	目標 A	t	12,706.0	12,641.0	12,531.0	12,415.0	12,259.0
	実績 B	t	9,723.0	9,307.0	9,346.0	9,226.0	
	達成率 B/A	%	130.7	135.8	134.1	134.6	
成果指標2	目標 A	%	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0
	実績 B	%	9.9	7.8	4.9	9.6	
	達成率 B/A	%	55.0	43.3	27.2	53.3	

1次評価	現状	ごみ排出量に関しては年々減少傾向にあり、啓発活動を通して買い物時のマイバッグの持参、中身の詰め替え可能な容器の購入等、ごみ排出抑制の意識が浸透してきている。
	課題	ごみの排出量は減少しているが、焼却処分されるごみの割合が高いためにリサイクル率の向上にはいたっていない。
	改善	ごみ分別の説明会・ごみ処理施設の見学や広報誌等による啓発活動を継続して行っていく必要がある。

2次評価	ごみの搬出量については経年的に抑制されてきており啓発等の効果が見られる。今後意識の変化とともにごみの再資源化に対し、分別の多様化などリサイクル率向上に向けて次の方策を検討する必要がある。
------	---

住民等の意見	
--------	--

町の対応	
------	--

※2次評価の公表後に住民等の意見があった場合には、再度公表するものである。